

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年11月28日

計画の名称	安全・安心、ゆとりと安らぎのある都市空間創造												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	秋田市,大館市												
計画の目標	市街地における歩行者の安全・安心な通行の確保等により、ゆとりと安らぎのある都市空間を創造する。 土地区画整理事業における道路の歩車分離と歩道のバリアフリー化等により歩行者の安全・安心な通行を確保するとともに、都市施設の整備によりゆとりと安らぎのある都市空間を創出する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	11,047	A	11,047	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (H33末)	最終目標値 (H35末)
1	土地区画整理事業等の実施による都市施設の整備により安全で快適な居住環境を創出することによって、施行地区内居住人口を概ね維持することを目標とする。 住民基本台帳の統計データ等をもとに算出する。 土地区画整理事業施行地区内の居住人口=(秋田駅東第三地区・秋田駅西北地区・御成町南地区)の居住人口	4926人	4930人	4930人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	<input type="radio"/>	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
大館市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業: 8ezepix9ni0rr8v														

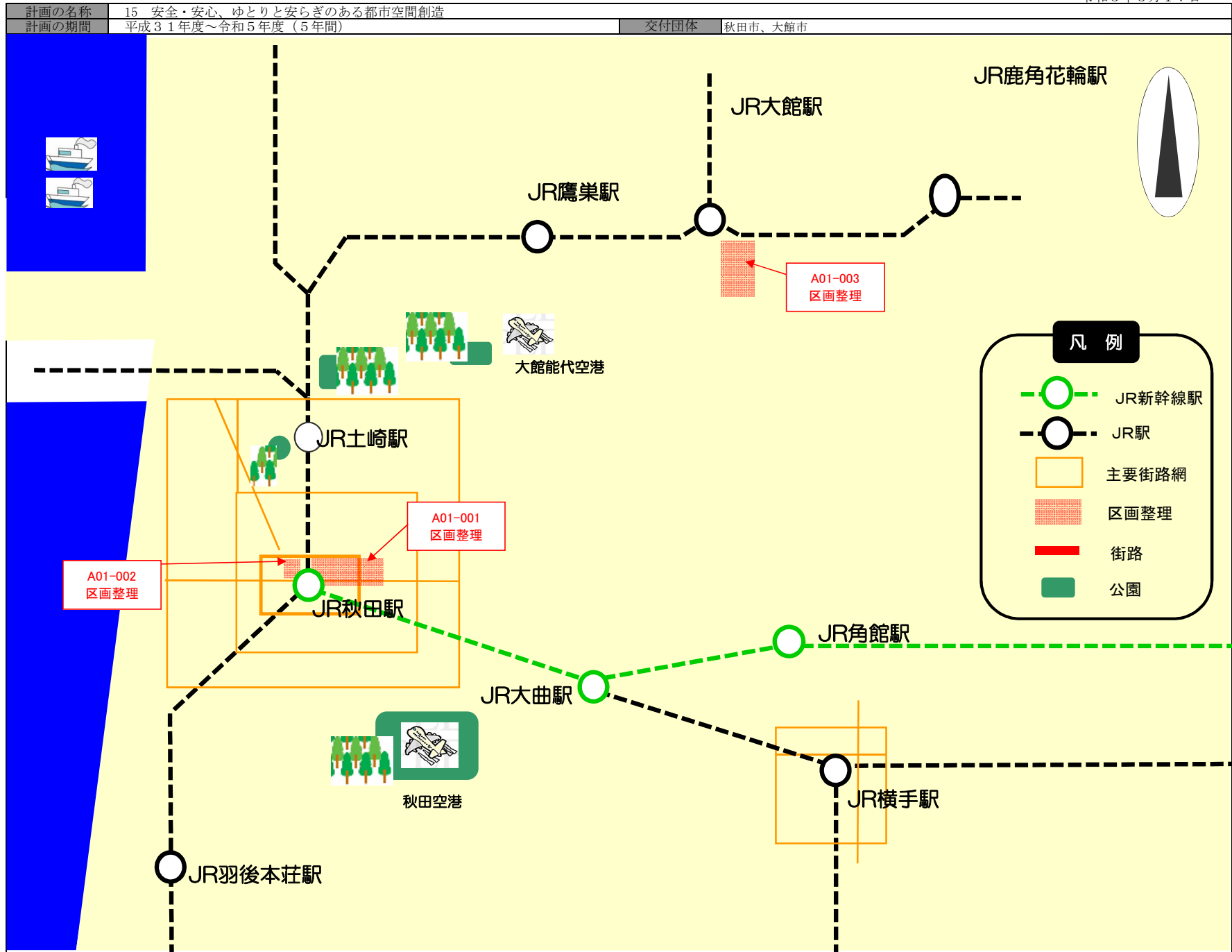
A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	区画	改築	秋田駅東第三地区(都市計画道路明田外旭川線外)	土地区画整理 45.5ha	秋田市						4,633	-	
	A01-002	街路	一般	秋田市	直接	秋田市	区画	改築	秋田駅西北地区(都市計画道路千秋山崎線外)	土地区画整理 5.8ha	秋田市						4,738	-	
	A01-003	街路	一般	大館市	直接	大館市	区画	改築	御成町南地区(都市計画道路中央線外)	土地区画整理 6.2ha	大館市						1,676	-	
	令和4年度(2022年)完了																		
												小計						11,047	
												合計						11,047	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	1,258	792	739	590	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	1,258	792	739	590	
前年度からの繰越額 (d)	272	954	618	373	
支払済額 (e)	576	1,128	984	627	
翌年度繰越額 (f)	954	618	373	336	
うち未契約繰越額 (g)	897	450	223	163	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	58.62	25.77	16.43	16.92	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	建物移転交渉に時間を要し 想定どおりに補償契約でき なかったため	建物移転交渉に時間を要し 想定どおりに補償契約でき なかったため	建物移転交渉に時間を要し 想定どおりに補償契約でき なかったため	建物移転交渉に時間を要し 想定どおりに補償契約でき なかったため	



事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心、ゆとりと安らぎのある都市空間創造

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 1. 各市都市計画マスタープラン	○
I. 目標の妥当性 2. 各市中心市街地活性化基本計画	○
I. 目標の妥当性 3. その他（秋田市総合交通戦略）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標が整備計画の目標達成へ向けた指標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が県民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 関連事業は基幹事業との一体性が見られる。（関連事業なし）	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が見込まれる内容となっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 1) 基幹事業の必要性が整理されている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連事業の目的が明確である。(関連事業なし)	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 事業の内容に関し、住民等との間で合意形成が図られている。	○